

◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

1、字句「智猶迷況」

2、形式「半紙タテ使用。右に「智猶」、左に「迷況」と臨書し、左余白に「〇〇臨」と調和を工夫して書き入れる。

3、概観「集字聖教序」は「蘭亭序」と「興福寺断碑」と共に、王羲之の代表的な行書作といわれています。しかし、詳細に調べてみると、草書と思われる文字もかなりみられます。これは、王羲之の書に限定されている為、やむを得ないこととは思いますが。

行書の特徴をひとこと言え、用いる上で極めて幅の広い書体といえます。楷書と比べてみれば、
・点画の連続、
・点画の省略、
・筆順の変化などが考えられます。

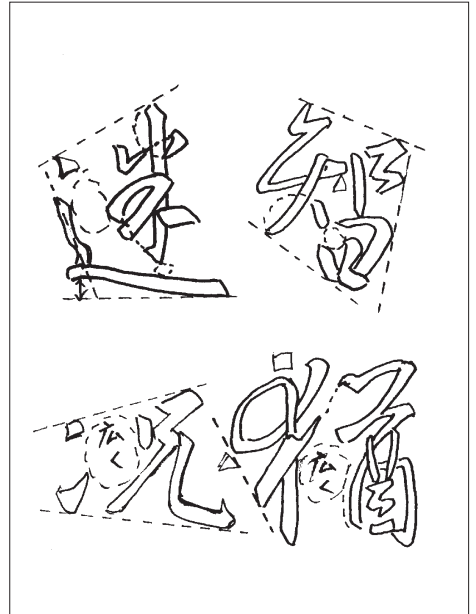
4、各字のポイント

智 △で裏面に。「口」の一画目は何故か長く。この縦画に他の画は接していない。「日」も一画目と二・三画目を離し明るさを出し、下すばかり。三画目と四画目の方向の処理に工夫がみえる。

猶 偏の△で裏面に△で表面にもどる。偏から傍の一画目に意連。四画目は左へ移動し、収筆で右にもどす。偏と傍の間の余白を広くとる。

迷 一画目から二画目、三画目へと意連。縦画は強く。之繞は右下に移動し、収筆へ押しつけてゆく。之繞と「米」の間をとりたい。

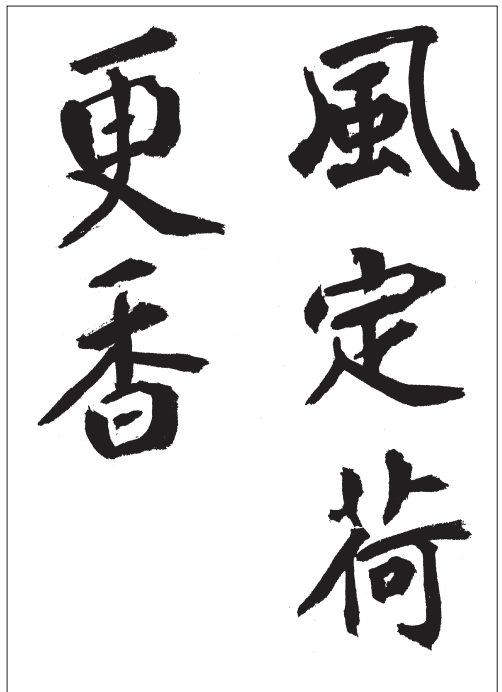
況 偏と傍の間は十分な余白をとって、懐を広く。



集字聖教序・王羲之

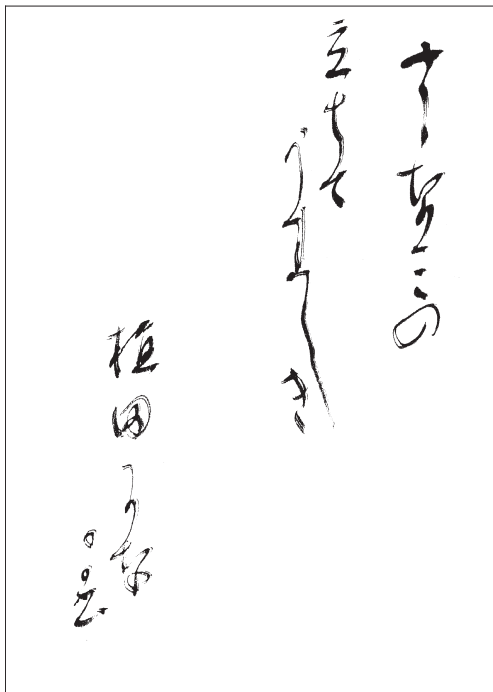
半紙課題(予告) (六月二十二日締切)

平岡華雪先生書 風定まって荷更に香し。(陸游)



訳：風吹きやんで蓮花はひとしお香しい。

平岡華雪先生書 小波の立ちてうれしき植田かな(素十)



研究部課題

(五月二十二日締切)

(課題)

鮮

▽注意

(1) 半紙タテ・ヨコ自由。

(2) 書体自由。

(3) 落款は「梅村書」と書き入れること。

雅印は無用。(出品者の本名又は雅号を入れた作品は失格)

▽出品要項

(1) 資格—推薦、準推薦、推薦合格者

(漢字・随意・かなのいずれかで推薦格以上であればよい。同人、準同人も歓迎)

(2) 締切—五月二十二日必着

(3) 発表—書誌七月号誌上

(4) 出品料—九二〇円同封

(5) 出品方法

ア、出品は一人一点とする。

イ、私製の出品票(タテ10センチ×ヨコ5センチ)を作品の左下にぶら下げて貼付する。

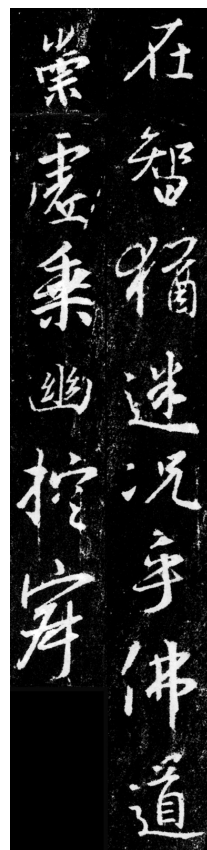
のりしろ	
研究部	
5月22日締切	
10センチ	5センチ
フリガナ (姓名(号))	(支部名)

※出品票は必ず楷書で正しく、ハッキリと記入すること。

※名簿作成の都合上、姓名(号)にはフリガナをつけて下さい。

※バーコード券は不要。

集字聖教序



条幅随意部として

在智猶迷。況乎佛道

崇虚。乘幽控寂。

智に在りても猶お迷うを。況んや仏道は

虚を崇び、幽に乘じ寂を控え、

※随意部参考(半紙・条幅)としてもご活用下さい。抜粋可。

随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。

(1)

一字書(五月二十二日締切)

課題

(1) 書体自由

(2) 半紙タテ ※ヨコは中止

(3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる

(4) 出品料 四三〇円

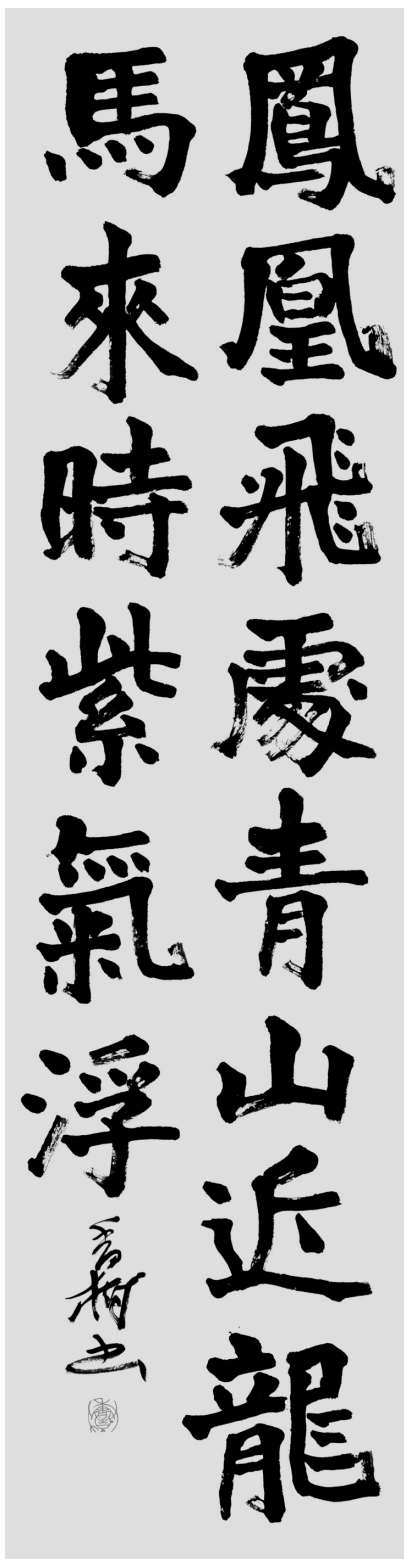
(5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣

の空欄に一字と記入 段級は無記入

禮

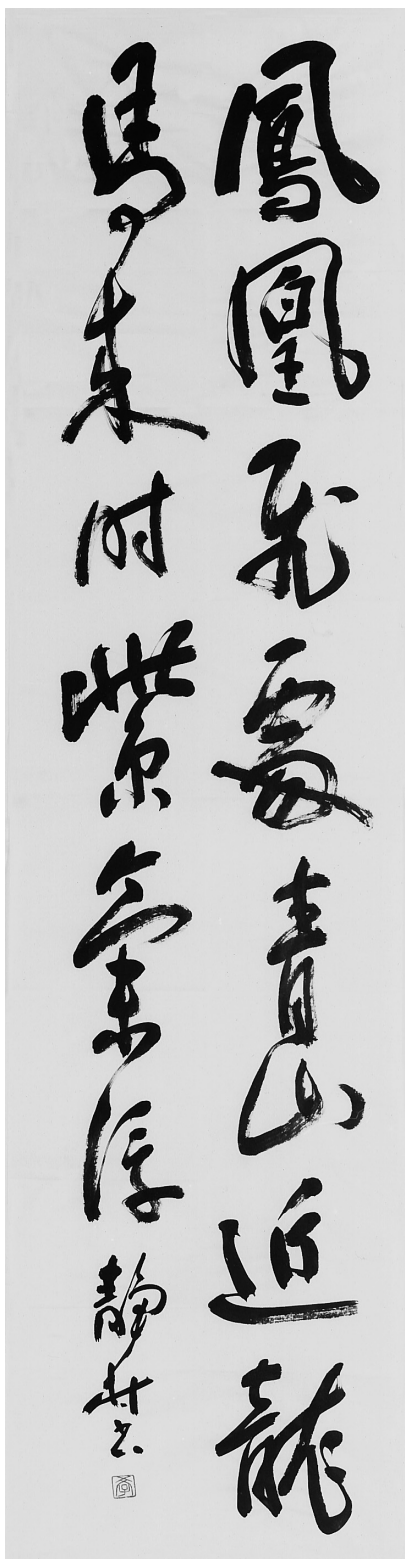
A 高橋香樹会長書

鳳凰飛處青山近 龍馬來時紫氣浮(葉永)
鳳凰飛ぶ処青山近く、竜馬来る時紫氣浮かぶ。



B 鈴木静村先生書

条幅で楷書作品を書く人は少ない。整齊に書くとなると(唐代の楷書のように)、神経を研ぎ澄まし、一点一画を慎重に書かなければならない。書く人が少ないのは理解できる。ある時期から、整齊に書くことを諦めて書くことにしたら、書くことが楽になった。「氣」は北魏ではよく書かれた字形。



対処のわずかずつについて 墨量の豊かさを意図した作。筆は兼毫二号(やや短鋒気味)にたっぷり墨を含ませ、墨継ぎは右行、左行一か所。右行の墨継ぎは、「青山」は連続させたので「近」。左行は定石の「紫」。「鳳」風構えで書く場合は前字と比べやや細めて、形も変化を。「鳳皇」と書いてもよい。「飛 處 龍 紫 氣」各字は表現字体が多いので、五体字類等字典にて調べられるよう、改めて奨励したいと思います。

訳：鳳凰は青山の近くに現れ、神馬がくる時は、めでたいことがあるという。

予告(六月二十二日締切)

想得石湖花正好

接天雲錦畫船涼(范成大)

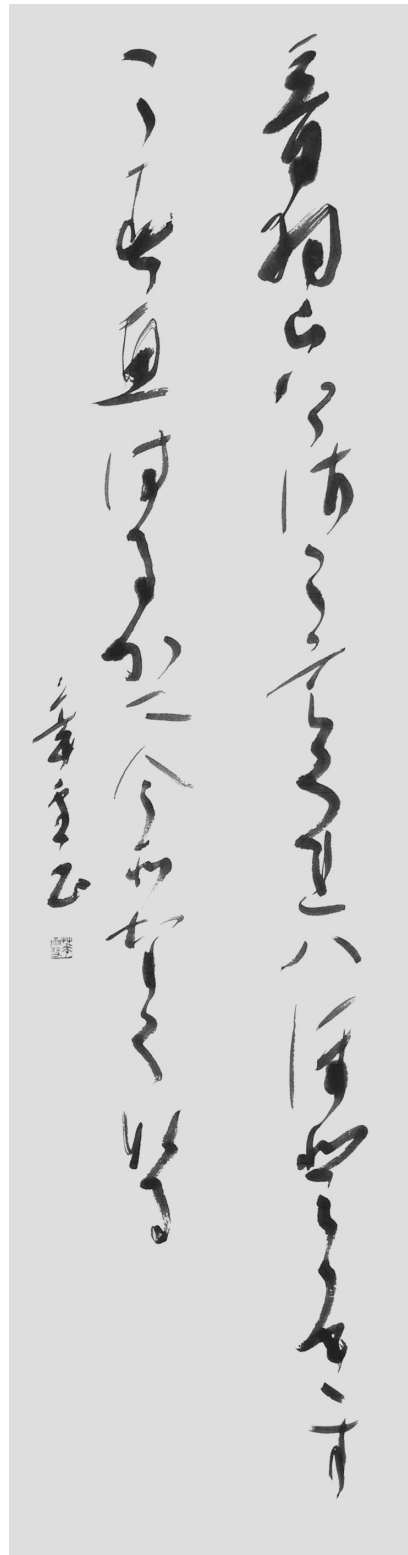
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

をとは山けさ越えくればほととぎす梢はるかに今ぞなくなる (古今和歌集)
音羽山介佐衣久連八ほ登きすこ春恵はるか二今所な久那る

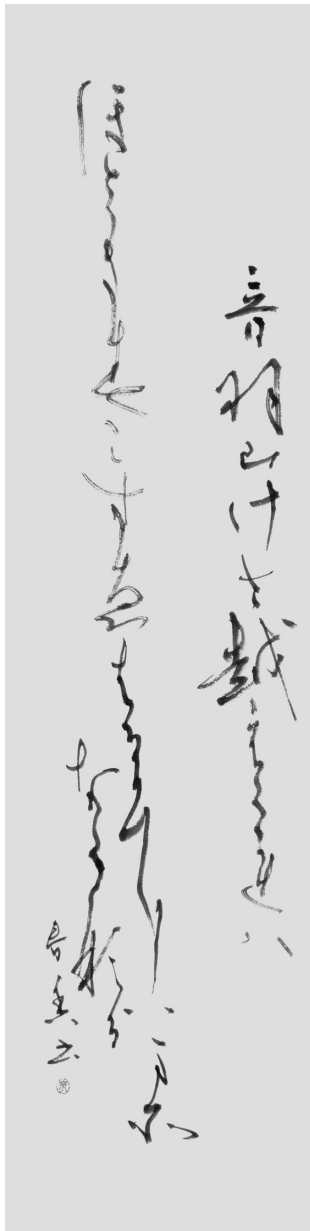
紀友則



B

石原春香先生書

音羽山けさ越え久連八ほととぎす春こすゑ者可耳い万所な久那る



紀友則

平安前期の歌人。紀貫之の従兄にあたり、三十六歌仙の一人。宇多、醍醐天皇に仕え大内記に至る。古今集撰者の一人。

学び方

「音羽山」は固有名詞なので漢字で表現してみました。「越え」は行の中で幅をとる字なのでやはり漢字で。「こすゑ」は渴筆で。「者可耳」で墨をつけ立体感のある作品に。

予告 (六月二十二日締切)

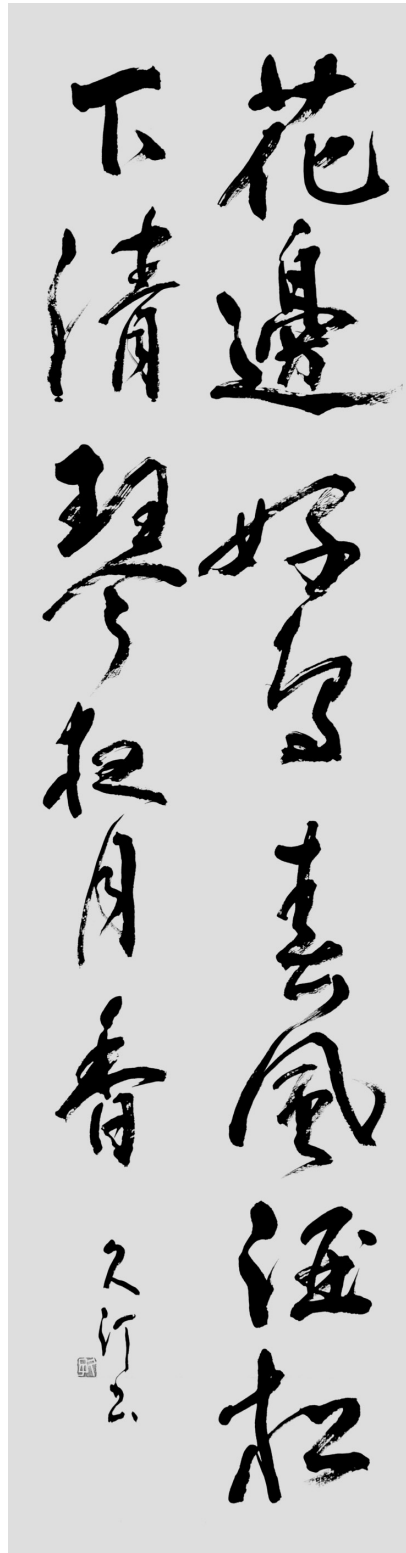
みじか夜のふけゆくまゝに高砂の峰の松風吹くかとぞ聞く (後撰和歌集)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条 幅 部 随 意 参 考

笹崎久汀先生書

花邊好鳥春風酒。松下清琴夜月香。(呉狹)
 花辺の好鳥春風の酒、松下の清琴夜月の香。



訳：花の下春かぜに鳥が鳴けば酒に酔うのによく、松の木かけに弾ずる塵外の琴は夜月までにおう。

森 多富先生書

雲行きを見上ぐる森の木ぬれには花つけし枝のざわめきてをり(木下利玄)
 雲遊支越見あくる毛り能木ぬ連尔盤花徒介し枝の佐王免きて遠梨

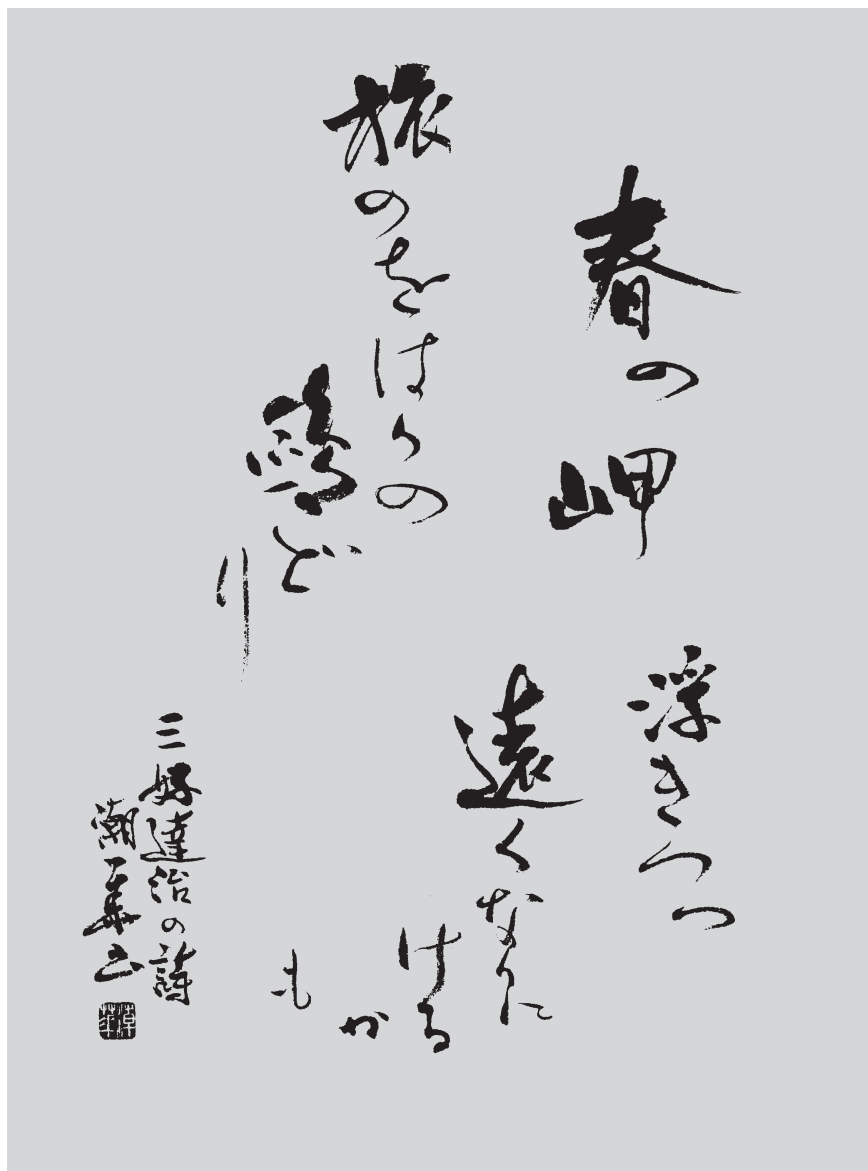


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

水貝潮華先生書

春の岬旅のをはりの鷗かもめどり
 浮きつつ遠くなりけるかも
 三好達治

紙面を上・下に二分割し、上段は少し大きめに固まりとして書き、下段は少し小さめに、そして軽く散らして書きました。



三好達治(一九〇〇～一九六四)
 大阪市生まれ、詩人。萩原朔太郎を生涯の師と仰いだ。「測量船」「駱駝の瘤にまたがって」「春の岬」「開花集」「艸千里」などの詩集において、洗練された近代日本の詩語の世界を生み出した。
 この詩は第一詩集「測量船」巻頭を飾った短歌形式の二行詩。昭和二年四月伊豆湯ヶ島に転地療養中だった親友の作家梶井基次郎を見舞った後、下田から清水まで渡った時の船中作である。

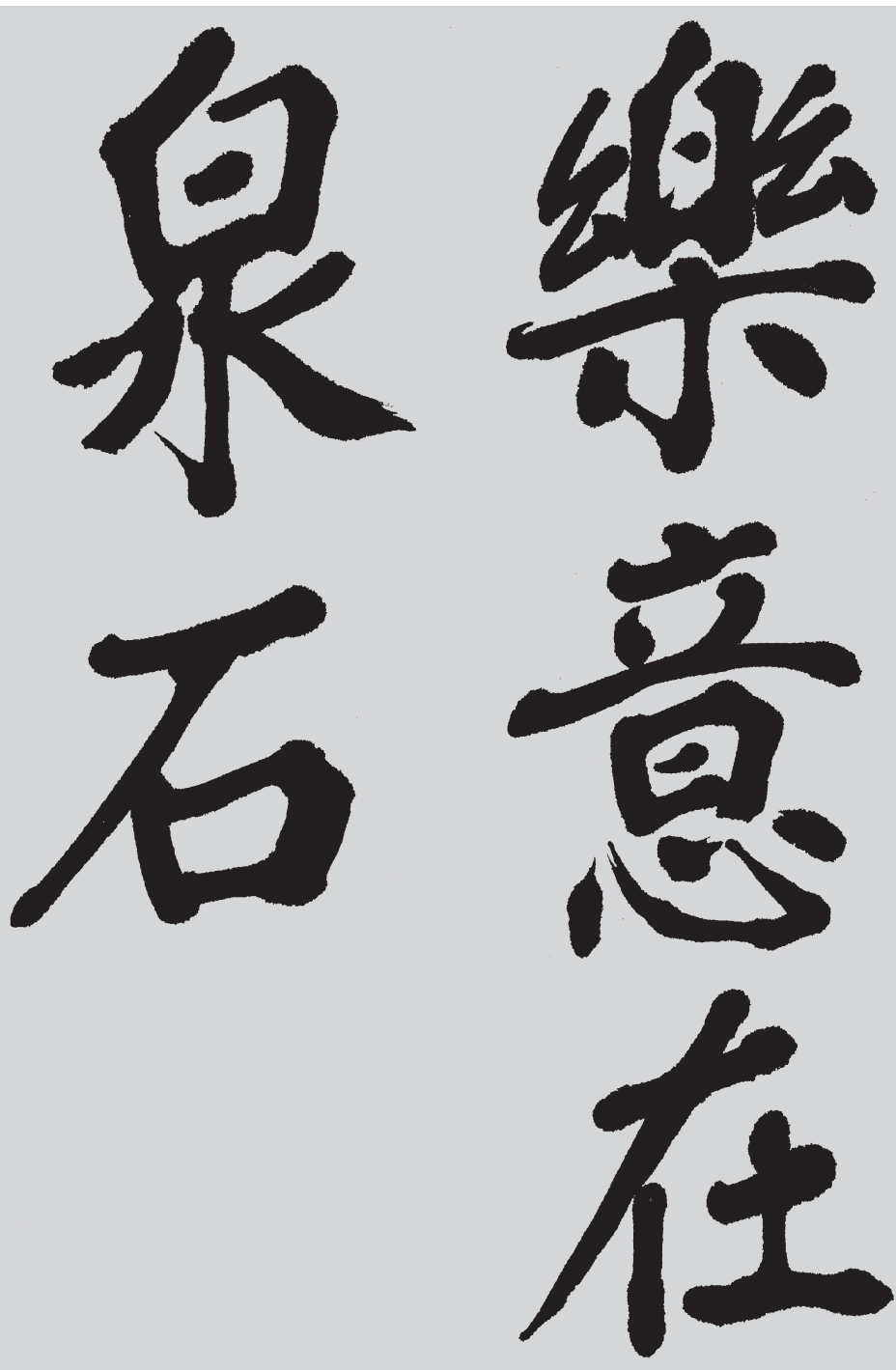
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

樂意泉石に在り(呉泰來)

訳…わが心を樂しませるのは何処に在るかといえ
ば、それは山水の間に在る。



〈留意点として〉

- ・「意」の「心」の二画目はスルリと運ばないで、屈折させて
- ・「在、石」の左払いは、直線的に強く。この字の主画
- ・「泉」の「白」の四画目、軽く点の筆調で打つと明るい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

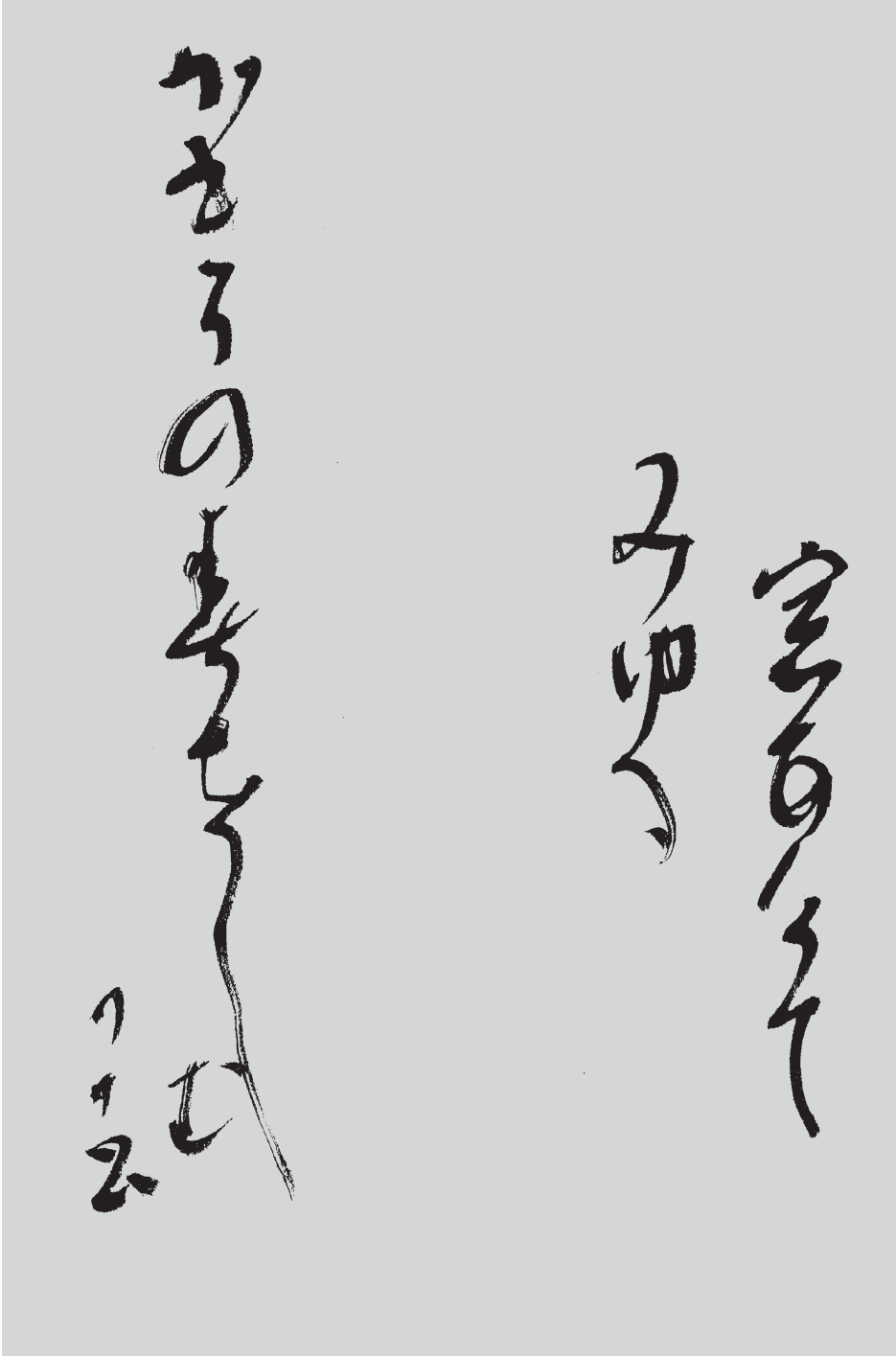
- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

窓あけて見ゆるかぎりの春惜む (高田蝶衣)
窓あけてみゆるかぎりの春をしむ

〈概観〉

変体がなは「介」一字、漢字は「窓・春」の二字。各行連綿の表出であるが、淡々とした明解な線条。これが華雪先生独自の境。初歩段階者は手本通りの形式・用字で順次深められ、精練な書作として出品を期待したい。書調上では「みゆるかぎり」が山場構成。渴筆の駆使を大切に「春」での墨継ぎが一般的。

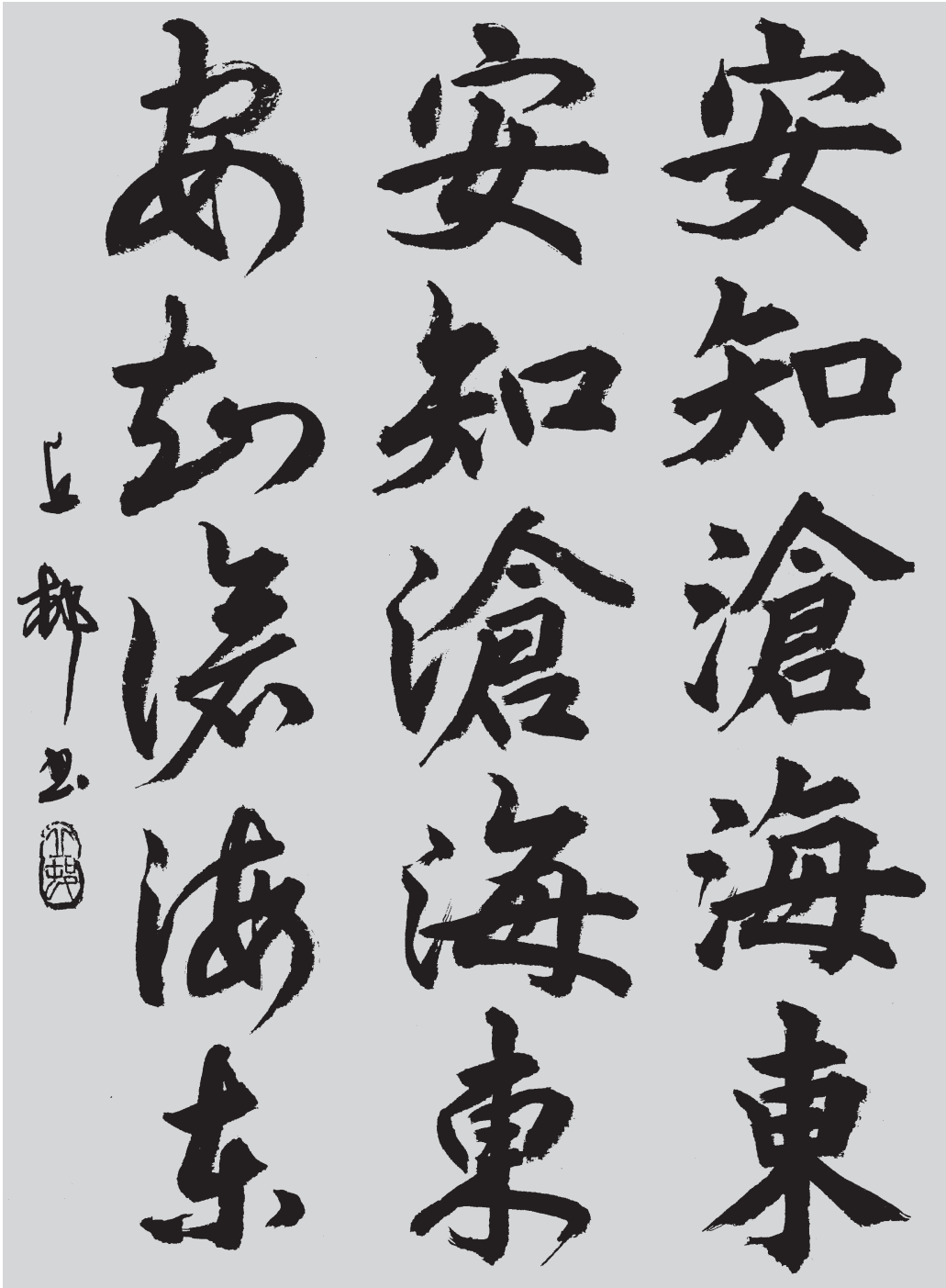


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

戸張丘邨先生書

安知滄海東（王維）
安んぞ滄海の東を知らんや



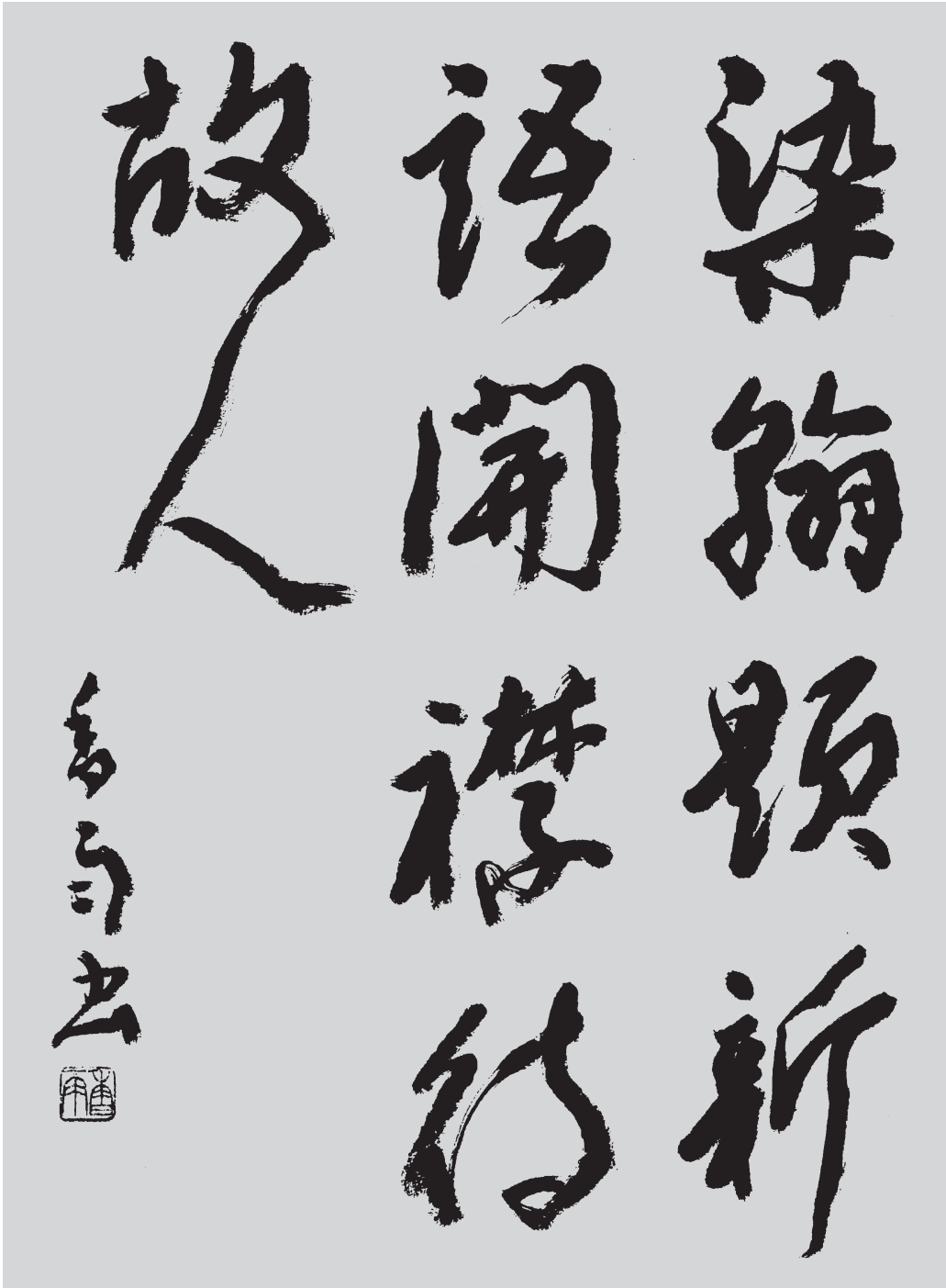
訳：東の海のさらに東、君の故国のあたりのことなど、どうして私たちに知ることができようぞ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

酒 井 香 雨 先 生 書

染翰題新語。開襟待故人。(胡翰)
翰を染め新語を題し、襟を開き故人を待つ。



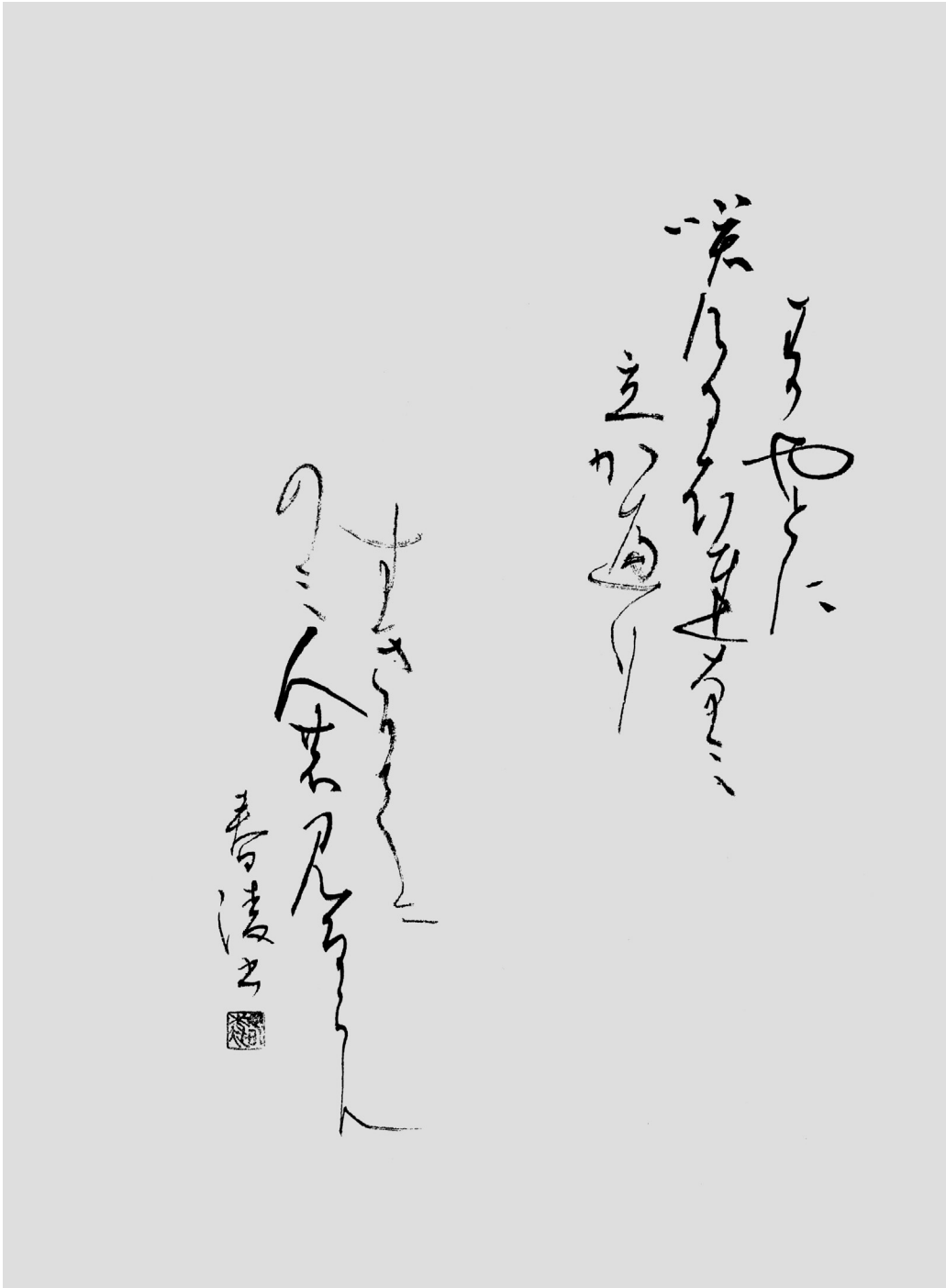
訳：筆に墨つけては新しき語を題し、心の底を打ち開いては旧友をもてなす。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

武井春凌先生書

わが宿にさけるふぢなみ立帰すぎがてにのみ人の見る覧(古今和歌集) 躬恒
王可やとに咲介る不遅奈三立か廻りすぎ可引三二の三人農見るらん



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

湯澤春翠先生書

川上香蓉先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

正教授 創作部門 (自運作品、自由形式、硬筆用紙使用) で出品。二名の審査員による合計点数で優秀作品掲載。審査料一、〇〇〇円

現実にはそこに向かない対象に向き、
観念的に、あるいは行動的に想像力
によろ接近しようとするへこころ
のあり様としようたわわっている。

息が弾みはじめるときに左手に
現われるのが丈の低い灌木に被われた
気持ち良さそうな斜面だった。

課題1 (初段階以上)

現実にはそこに向かない対象に向き、
観念的に、あるいは行動的に想像力
によって接近しようとするへこころ
のあり様としようたわわっている。

「萬葉へ」 佐佐木幸綱

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン (黒色) を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入 (色は黒) はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円
- (6) 昇試規定は裏表紙を参照の事。

課題2 (初段階以下)

息が弾みはじめるときに左手に現われるのが丈の低い灌木に被われた気持ち良さそうな斜面だった。

「春の道標」 黒井 千次